



Lecture series

<第17回>

カミナリ雲の謎に クラウドファンディングで挑む

平成28年 11月 18日(金) 15:00～16:15

京都大学附属図書館 1階
ラーニング・コモンズ

(学部生・院生対象)



榎戸 輝揚 氏

(京都大学白眉センター
/理学研究科宇宙物理学教室 特定准教授)



問合せ先：京都大学附属図書館 利用支援掛
TEL：075-753-2636
e-mail：ref660@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

今回のテーマ

大型の衛星や実験装置の活躍で、宇宙の遙か彼方や自然界の成り立ちの研究が世界中で進んでいます。しかし、ふと視点を変えると、身の回りにも未解明な現象が転がっています。たとえば、雷雲から予想もされなかった高エネルギーの光(ガンマ線)が降り注ぐことが、ごく最近になって観測的にわかってきました。この現象は、宇宙から地球に降り注ぐきわめてエネルギーの高い粒子(宇宙線)が関係していたり、昔から人類が知っているはずのカミナリが発生する謎に関わっているようです。これらを解明するため、冬季に日本海側に到来する強力な雷雲の放射線観測を行う「雷雲プロジェクト」を立ち上げました。これは、学術系クラウドファンディング academist (<https://academist-cf.com/projects/?id=16>) で市民からの支援をもらうなど、新しい試みも取り込んで進めています。観測装置を手作りし、自然を調べる楽しみをお伝えし、研究の最前線の現場を紹介します。



雷（カミナリ）のトリガーに宇宙線は関係しているのか？



雷雲ガンマ線の発生メカニズムに挑む

榎戸 輝揚 氏 自己紹介

榎戸 輝揚 (えの と てる あき) : 1983年北海道生まれ。京都大学白眉センター(宇宙物理学教室)特定准教授。2010年に東京大学物理学専攻博士課程を終了後、スタンフォード大学カブリ素粒子宇宙物理・宇宙論研究所、理化学研究所、NASAゴダード宇宙飛行センターなどの研究員を経て、2015年より現職。おもな研究分野は宇宙X線による中性子星の観測的研究で、なかでも磁場の強い天体マグネターを専門とする。京都大学に着任後、宇宙の観測に加えて、クラウドファンディングやオープンサイエンスを取り込んだ「雷雲プロジェクト」を立ち上げた。Twitter アカウト [teru_enoto](#) で呟くことがある。